

## 祝 上棟



桁廻りの納まり(渡りあごと込み栓)



今回の試みとして、通常、各階の柱は3mの長さを使うのですが、今回は4mの柱を使って1階と2階を通して使っています。2階は通常なら平屋建ての小屋裏扱いとなる部分ですが、下の写真のように組むことにより居住空間が作れます。このことによって、コストを大幅に下げることが可能となります。

天井は通常の高さより低くなりますが、ほぼ寝るだけにしか使われない部屋に2m40cmもの高い天井は必要ないというのが、僕と施主さんの共通した考えで、1階に関しても、天井を低く抑えました。その結果とても落ち着く空間となります。



伝統構法は、先人の知恵を学ぶことによって、創造と工夫の世界が広がっていきます。日本各地に残る古民家は、その地方独特の木組みの文化があってどれもすばらしい技術です。東北地方にある気仙大工の入母屋や、北陸地方の粋の内つくり、京都の町屋づくりなどなど。本来構法は自由で楽しいものです。それを各地の伝統建築は教えてくれています。



構造見学会を近く行うことにしました。  
日時が決まり次第ホームページでお知らせいたします。